

生駒市市政顧問が従事した職務の遂行に係る情報

議 題	教育（学校教育）
日 時	令和 5年12月14日（木） 13:00 ～ 15:00
場 所	特別会議室（顧問はオンライン参加）
出席者	藤沢市政顧問 小紫市長、山本副市長、原井教育長 鋤田教育こども部長、山本教育総務課長、花山教育指導課長 日高教育政策室長、増田企画政策課企画官
主な意見 （概要）	<p>○学校教育の目標と取り組みの柱及び取り組み状況等を説明。</p> <p>○顧問の主な意見（コメント）は以下の通り</p> <p>●教育目標「21世紀を生き抜く力」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力レベルが高いというのは本当に素晴らしいことだが、人間にしかできないこと、つまり問いを探す力とか、いろんな0から1を生み出す力といったものが今後求められるので、少し先取りしたものが必要になってくる。その際、親の理解が重要で、保護者の方々にこれからどういう能力が子どもにとって必要かということを考えたり知る機会を同時に提供することは極めて重要。</li> <li>・子どもたち自身が実感する機会をつくる。「ロボットやコンピュータにはできない、人間にしか自分にしかできないことは何なのか。」ということを考えたり体験したりする機会をつくるとよい。同時に、そういった能力を磨くためには、やはり自然の存在がすごく重要である。</li> <li>・キャリア教育は突き詰めると、好きなことは何かということと夢中になって何かを達成して自己肯定感を持つということが大事。生駒市では素晴らしい取り組みを進められているので、その結果どういう能力が向上しているのかということをご研究しているところと連携できるのならば、定性的なものでもいいのでデータを取っていくとよい。</li> </ul> <p>●未来の学校づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不法侵入がないように顔認証とか画像認証とかいろんなものがあるので、顔パスで登録された人だけが入れる学校にしておくとかデジタルを使った見守り防犯にもチャレンジしてみてもどうか。</li> </ul>

●その他

- ・教育大綱で書かれたことが全てのものに反映されるよう、教育大綱の柱に合わせて見直していくというのが次のステップだと思う。時々あるプロジェクトで確認するというだけではなく、日々の学校生活の中にもどのくらい入ってるのかといった、一貫性が必要。
- ・虐待防止の取り組みにデータをどう使うかについては、いろんな先生が研究しており、相談し進めるとよいと思う。